



## 青年会議所が 阿蘇ジオパークフォーラム開催



公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会が7月9日、世界ジオパーク入りを目指す阿蘇市で「阿蘇ジオパークフォーラム」を開催し、会場となった阿蘇体育館には約400人が参加し盛況でした。

このフォーラムは青年会議所が地域振興活動として行ったもので、開会に際し会長が「熊本県中でこの取組を応援しています」と挨拶。日本ジオパーク委員会事務局の渡辺正人氏が記念講演を行った後、阿蘇草原再生千年委員会委員長米澤和彦氏、元熊本大学教授渡辺一徳氏、佐藤阿蘇市長、阿蘇市観光協会会長稲吉淳一氏を交えたパネルディスカッションがあり、「世界中に阿蘇を売り込むには、そこに住む人々の地学の知識と良さを伝えようとする意識が必要」など活発に世界ジオパーク認定に向けた議論が展開され、会場からも質問や意見が出されました。

## 春の叙勲受章 地方自治に功績 家入賢一氏に旭日双光章



▲ 市長に報告をした家入氏（右）。

春の叙勲受章者が6月18日に発表され、阿蘇町議会議員及び阿蘇市議会議員を永きにわたり歴任し、地方自治の伸展に大きく貢献したとして、家入賢一氏（80歳、赤水）が旭日双光章を受章されました。

家入氏は、昭和57年に阿蘇町議会議員に初当選以来、平成19年2月までの6期24年余り在職し、その間、阿蘇町議会議長、同議会副議長、同議会総務常任委員会副委員長などを歴任し、議長時には豊富な経験と指導力で「阿蘇中部4町村合併推進協議会」の設置などに尽力されました。

家入氏は「皆さんのおかげで受章することができた。これからは市のために頑張っていきたい」と喜びを語られました。

## 社会を明るくする運動



61回目を迎える社会を明るくする運動は「更生保護の日」である7月1日から1ヶ月を強化月間として、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を求め、犯罪のない明るい社会を築こうと、全国各地で様々な催しが実施されました。

阿蘇市でも7月1日、産山村と合同で組織する阿蘇中部地区推進委員会（山部謙一郎委員長）が市役所で出発式を行い、各学校や店舗などを廻り啓発活動を行いました。

## 隣保館とコミュニティー センターで委員委嘱



6月27日に阿蘇市中通隣保館運営審議会（委員11名）が、また、翌日28日には阿蘇市コミュニティーセンター運営審議会（委員13名）が開催され、佐藤市長から委員に委嘱状が交付されました。運営審議会の会長には井島昭年さんと國武香さんがそれぞれ選任され、その後の運営審議会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画が諮られ、差別のないまちづくりに向けた今後の事業運営等について真剣に審議されました。